

平成28年度 第2回倉吉市地域学校推進協議会の開催概要

1 趣旨

各学校の「地域学校委員会」の代表や教員が一堂に会し、先進的な事例を学ぶとともに、活動状況の意見交換を行い、倉吉市地域学校委員会の取り組みのさらなる推進を図ることを目的とし開催している。

2 概要

- (1) 日時 平成29年2月18日(土) 9:30~12:00
- (2) 場所 上井公民館 多目的ホール
- (3) 参加者数 60名
- (4) 内容

① 開会

「倉吉市の学校と地域づくりについて」

倉吉市教育委員会 教育長 福井 伸一郎

② 実践発表

「倉吉市立東中学校活動報告」

倉吉市立東中学校 校長 小椋 博幸 氏
東中学校の「玉川トラッシュハンティング」の活動について発表していただいた。

地域のために中学生ができることを学友会が中心となり考え、玉川清掃を地域の方と一緒に企画・運営していった実践を紹介していただいた。生徒が主体的に活動するためのしかけや段取り等今後の活動のヒントをいただいた。



③ 説明 「今後の動向について」

鳥取県教育委員会 小中学校課

学校・家庭・地域連携推進担当 課長補佐 福田 範史 氏

今後の動向について、「次世代の学校・地域」創世プランをもとに、開かれる学校から信頼、期待される学校になり、学校を核とした地域作りが求められていることについてご示唆いただいた。

そのための大切な視点として、学校と地域の人々が共有した目標に向かってともに「協働」して活動していくことの大切さを強く感じることができた。



④ グループで意見交換

テーマ「地域の次世代育成について」

○現在それぞれの団体で実施されている児童生徒を対象とした事業を、資料や情報交換を参考に、内容・方法などの観点からワークシートに整理をする。

	学校行事	地区公	青少協	放課後教室	社会福祉	スポーツ	その他
4月							
5月							

⑤まとめ・アンケート

⑥閉 会

3 参加者の感想

○東中の生徒に考えさせ計画させ行動させる主体的な取組の手法は、とても参考になった。恩返しという発想で生徒は行動する。地域を巻き込んで協働する体験活動が大切であると感じた。

○次世代育成について、意見交換をしながらプログラム作成したが、このやり方を地域学校委員会に取り入れ、「地域とともにある学校づくり」にがんばっていきたい。今後の方向性が見えてきた。

○地域・学校・家庭が育ち学び合う関係を築いていくことの重要性を再確認した。地域には、たくさんの人材がおられる。その人材の方々が気軽に学校教育に参加できるシステムを作ることが大切だと思った。子どもたちの学ぶ姿を見て、一緒に参加したり、協力したり、支援したりできる環境があれば、子どもたちは健やかにふるさとや地域を愛せる大人に育っていくと思った。

○今後の動向を聞き、それをふまえながら学校、地域が一带となって進めていくために計画を立ていきたい。整理しながら、これまでの取組、今後あるべき取組をしっかりと考えていき、我が校としての特色づくりを検討していきたい。

4 成果

学校と地域が協働して子どもを育てていくことの必要性について感じるとともに、「地域の子どもは地域が育てる」について改めて考えることができた。

また、地域貢献活動についてのヒントも提案していただき、各学校・地域が課題を共有しながら来年度に向けての意欲を高めることができた。

